

2024年度消費生活アドバイザー資格試験の最終結果

一般財団法人日本産業協会
会長 矢島 良司

当協会は、消費生活相談員資格試験の登録試験機関として、消費生活相談員資格試験を兼ねて消費生活アドバイザー資格試験を実施した。合格者は消費生活相談員資格（国家資格）を取得するとともに、登録申請により消費生活アドバイザー資格を取得することができる。

第1次試験はCBT方式（Computer Based Testing）により、各都道府県にあるテストセンターで実施した。第2次試験は全国5都市の試験会場で実施した。

1. 総括

（1）受験申請者及び受験者、合格者

2024年度「消費生活アドバイザー資格試験」の受験申請者総数は1,529人で、前年度の1,786人に対し257人の減少となった。

最終合格者数は、406人に決定した。第2次試験合格者には合格証を交付し、このうち登録申請があった者には、消費生活アドバイザー資格と消費生活相談員資格の両方を証明する資格証を交付する。

第1回(1980年度)から第45回(2024年度)までの合格者累計は、19,813人となった。

＜受験申請者及び受験者、合格者 申請種別＞ (単位：人)

	受験申請者 総数	第1次試験		第2次試験	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
第1次試験 受験申請者	1,409	1,204	426	411	319
第1次試験免除者	120	－	－	㊸ 113	87
合計	1,529	㊶ 1,204	426	524	㊷ 406

（2）最終合格率

$$\left(\frac{\text{第2次試験合格者㊷}}{\text{受験者総数 ㊶+㊸}} \right) = \frac{406人}{1,317人} = 30.8\%$$

前年度

$$\frac{415人}{1,534人} = 27.1\%$$

＜最終合格者 年齢別、男女別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計	前年度
25歳以下	6 1.5%	7 1.7%	13 3.2%	12 2.9%
26～30歳	15 3.7%	12 3.0%	27 6.7%	34 8.2%
31～40歳	16 3.9%	26 6.4%	42 10.3%	58 14.0%
41～50歳	57 14.0%	41 10.1%	98 24.1%	95 22.9%
51～60歳	114 28.1%	73 18.0%	187 46.1%	163 39.3%
61歳以上	35 8.6%	4 1.0%	39 9.6%	53 12.8%
合計	243 59.9%	163 40.1%	406 100.0%	
前年度	237 57.1%	178 42.9%	415 100.0%	

・最高齢 男性：72歳（前年度：69歳） 女性：66歳（前年度：71歳）

・最年少 男性：22歳（ ” ：24歳） 女性：20歳（ ” ：18歳）

（注）年齢は、2024年10月12日現在

2. 第1次試験（択一試験）

（1）試験の範囲

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 消費者問題 | 4. 生活基礎知識 |
| 2. 消費者のための行政・法律知識 | 医療と健康 |
| 行政知識 | 社会保険と福祉 |
| 法律知識 | 衣服と生活 |
| 3. 消費者のための経済知識 | 食生活と健康 |
| 経済一般と経済統計の知識 | 快適な住生活 |
| 企業経営一般知識 | 商品・サービスの品質と安全性 |
| 金融の知識 | 広告と表示 |
| 生活経済 | |
| 地球環境問題・エネルギー需給 | |

（2）試験日：2024年10月12日（土）、13日（日）、19日（土）、20日（日）

（3）受験者数：1,204人（前年度：1,429人） 出席率85.5%（前年度85.5%）

（4）合格者数：426人

$$\left(\frac{\text{1次試験合格者}}{\text{受験者数}} \right) = \frac{426人}{1,204人} = 35.4\%$$

$$\text{前年度} \quad \frac{490人}{1,429人} = 34.3\%$$

3. 第2次試験（論文試験・面接試験）

（1）試験の範囲

- ① 論文試験：消費者問題、法律知識、企業経営一般知識の3題から1題を選択。
- ② 面接試験：面接試験委員と受験者の個人面接を実施。

（2）試験日：2024年12月8日（日）

（3）受験者数：524人（前年度：577人） 出席率96.0%（前年度95.4%）

※ 第2次試験の合格基準

①論文試験

消費生活アドバイザー及び消費生活相談員として必要な、出題の理解力、課題の捉え方、表現力等を審査し、5段階評価（A～E）のC以上を合格とする。

②面接試験（面接免除制度有り）

消費生活アドバイザー及び消費生活相談員として必要な、見識、相応しい態度、積極性、コミュニケーション能力等について審査し、面接委員の総合評価が3段階評価（A～C）のB以上を合格とする。

（4）合格者数：406人

$$\left(\frac{\text{2次試験合格者}}{\text{受験者数}} \right) = \frac{406\text{人}}{524\text{人}} = 77.5\%$$

前年度	$\frac{415\text{人}}{577\text{人}} = 71.9\%$
-----	--

4. 資格証の交付

第2次試験合格者には、合格証を交付し、このうち本年度中に登録申請があった者には、消費生活アドバイザー資格と消費生活相談員資格の両方を証明する資格証を交付する。